

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	JA全農ひろしま とれたて元気市	階数	地上2F
建設地	広島県広島市安佐南区大町東二丁目	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、近隣商業地域(準)	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,840時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2021年2月12日
敷地面積	3,910㎡	作成者	渡邊 潤
建築面積	1,457㎡	確認日	
延床面積	2,627㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.5)

音環境	2.1
温熱環境	2.6
光・視環境	2.7
空気質環境	2.6

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.7)

機能性	2.3
耐用性	2.7
対応性	3.3

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 2.2)

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.0)

建物外皮	N.A.
自然エネ	3.0
設備インテ	3.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.2)

水資源	3.4
非再生材料	3.0
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.2)

地球温暖化	3.7
地域環境	3.1
周辺環境	2.7

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.9

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.1	スコア = 1.9	スコア = 3.0
設計の計画し特段に配慮した事項 1階庇は、3mの奥行を確保すると共に、2階サッシについては複層ガラスを用いることで熱負荷の抑制を図った。// 全熱交換機を採用することで空調負荷低減に配慮した。// 全熱交換機を採用することで空調負荷低減に配慮した。// 便所の手洗い器は自動式とし、節水対策を行った。また、躯体と仕上げ材が分離できる様スケルトンインフィルとした。// 敷地外周部に緑地帯を設ける他、屋根面に太陽光発電パネルを敷設する計画とした。	設計の計画し特段に配慮した事項 屋根面に太陽光発電パネルを敷設することで自然エネルギーの有効活用を図った。// 駐車場出入口は分散して設けることで道路への負担を低減する計画とした。	設計の計画し特段に配慮した事項 2階はフリーアクセスフロアを用い、建物使用環境の変更に対応できる計画とした。// 個別空調とすることで機器の更新に留意した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される